

「佐賀駐屯地建設工事差止仮処分」第2回 審尋・報告集会 に120人

仮処分第2回審尋を終わって 弁護団長 東島浩幸

11月22日の第2回審尋では、債権者側（当方）は、国の答弁書に全面的に反論する主張書面を提出しました。国は、答弁書で、国造揚60号（本件土地）の

所有権は、契約書や登記などを根拠に昭和63年に県から旧南川副漁協に移転したもので、地権者らに移転したのではないと主張したのです。

地権者らが県から本件土地の所有権を取得

しかしながら、昭和63年の売買に至る経緯からみて、県から本件土地の所有権を法的に取得したのは古賀さんら地権者らです。本件土地は、農地造成目的の土地改良法に基づく国営土地改良事業で、事業完了前に配分申し込みを受けて、自作農として農業に精進する見込みのある者を選定して配分されるものでした。その時代（昭和38年）に、県知事と南川副漁協の間で、漁家の生活再建という面もあって

自作農にはなれませんが、その後、減反政策による国造干拓事業の頓挫と佐賀空港建設での佐賀県への払い下げ計画となりましたが、佐賀県知事と南川副漁協は、昭和56年、昭和38年申し合わせを覚書として確認しました。また、同じころ、圃場整備を実施しており、昭和60年では一部作付けをしています（航空写真）。また、昭和

同組合の漁業権者の入植増反希望者に配分するとの申し合わせがなされたのです。漁協は

また、平成19年の漁協の合併の前に、南川副漁協の顧問弁護士が、「合併によって新漁協の所有権と言われないために、『国造揚60号管理運営協議会が登記面を南川副漁協に委託したものに過ぎず、漁協は実体法上の所有者で

漁協合併時に「漁協は所有者でない」との覚書

また、平成19年の漁協の合併の前に、南川副漁協の顧問弁護士が、「合併によって新漁協の所有権と言われないために、『国造揚60号管理運営協議会が登記面を南川副漁協に委託したものに過ぎず、漁協は実体法上の所有者で

ない』旨の覚書を結ばない」との回答をし、覚書案を作っていました。その覚書の押印したものは入手できていませんが、覚書が締結されていたことは必至です。

以上から、県から所有権を取得したのは地権者らであることは明らかです。また、当方は、本件土地の実質的所有者は地権者らであることを十二分に認識しており、債権者らの所有権を争う国の主張は信義に反することを詳細に主張しました。例を挙げれば、九州防衛局は令和3年の地権者アンケートや令和5年には地権者への戸別訪問をしていました。また、度々の防衛大臣の記者会見での回答にも、何回も「地権者の理解」「地権者の意向」と回答していたのです。



◆「市民の会」ホームページ

オスプレイ裁判支援

検索



海とはっちゃんたち

佐賀空港へのオスプレイ等の配備問題は急展開し、防衛省は6月12日から工事を強行している。駐屯地建設へのハードルは3つあり、①自衛隊との共用をしないことを決めていた「公害防止協定」の見直し、②地権者からの土地の購入、③地域住民（漁民や地権者を含む市民・県民）の理解と納得であったが、いずれも民主的な手続きを無視した荒技、ゴリ押しでハードルを飛び越え現在に至っている。◆そこには、「住民の理解が不可欠、住民に寄り添い丁寧に説明する」という言葉とは裏腹の、配備ありき駐屯地ありきの一貫した住民無視の姿勢だ。「無理が通れば道理が引く込む」ということわざがあるが、無理を通らせてはならない。

理不尽なことには反対して許さず、正しい世の中を作っていくことが大切だ。このたび、4人の地権者がこの思いを胸に立ち上がり、それを支える「市民の会」に500人が結集した。私もその一人として皆さんと手を携えて闘っていききたい。

仮処分第3回審尋・本訴提訴は12月20日（水）。午前10時半に弁護士会館集合

（下村）

地権者・原告の一人

石尾義幸さんインタビュー

「オスプレイ裁判」の原告・地権者の一人、石尾義幸さん(73)は現役のノリ漁業者です。今年のノリ漁の準備が始まった10月25日、有明海佐賀



ノリ漁業をはじめて50年、裁判への思い

空港沖の船上で仕事をすする石尾さんに、裁判への思いなどをインタビューしました。(聞き手は「市民の会」世話人・田中)

を決意した理由は。石尾 国のやり方に納得するかせんか、そこら辺のことはなからうかね。最初から有

国や漁協のやり方に納得できない

問 オスプレイ駐屯地をどう感じるか。石尾 有難たがられるような施設ならよかよ。そいばって

ん、(オスプレイは)ゆくゆくは人間殺すための武器。世界中で墜落して死亡事故が多発している。先日も事故率が高いと記者会見で言ったが、新聞にも載せない。どれだけ墜ちる確率があるよと言うても載せんもん。

問 古賀初次さん(はっちゃん)が地元川副地区住民に支持される理由は。石尾 やっぱ人間性やろかね。長年付き合ってきて、そ

明海漁協の非公開での姑息なやり方が許せなかつたね。(漁協本所の西久保組合長は、岸田総理と2回も密会し、秘密裏に公害防止協定を見直し、オスプレイ導入を進めてきた)実際は漁協には所有権は漁協本所にはなかなね。国は勝手に漁協と所有権移転の契約したとかなんとかとか。長いものには巻かれるでは、でけんもんね。世の中は。

れの延長線上やっけんが。人を裏切ったりしんざらんやんね。やっぱ信用のあるときさい、人間的に。そいけんみんなついでいくときさい。金銭目的じゃなし欲得抜きで反対運動をしようさうが。

問 オスプレイ問題で親子の対立になる家庭も多いと聞か。石尾 色々あつてもなんとか家族間で話し合いの出来ていとよい。やっぱ親子の話し合いができない家庭もあるときさい。親父は反対ばつてん

が(将来のある)息子は反対とは言えずに、家庭内がにっ

ちもさつちもいなくなつているところもある。そいけん本当なら、もっと多かときさい。オスプレイに反対する人は。



県知事は私たちと話し合うべき

問 山口祥義佐賀県知事に言いたいことは。石尾 沢山あるさい。我が勝手に(オスプレイの)受け入れ表明して、それも人の土地に。何ということしよるですかと。(地域住民や地権者に)

一言の挨拶もなかなね。もう知事になって10年もなつていのに。そこら辺の道路工

事に来られる人でも、一言も言わすもんね。「工事しますので」と。常識外れもよかとか。なんの知事がとあろうかと言いたい。全然民意とか(意識は)なかもんね。今の知事は。ただ単に我が欲だけ。ほんなど。それぐらいにか自分たちには映らんね。悪代官と変わらん。

石尾さんインタビュー動画「はっちゃんたちのオスプレイ反対日記⑩」もぜひご覧ください。https://youtu.be/abG_9ATfmps

オスプレイ関連ニュース&運動

10月30日 「市民の会」として朝8時から夜8時過ぎまで、佐賀駐屯地(仮称)工事現場に入る車両について、12人が交替で調査。ダンプ約600台、資材搬入する大型車両が約70台。その他通勤車、社用車、商用車など多数

11月15日 米海軍オスプレイが嘉手納基地に緊急着陸

11月22日 「佐賀駐屯地建設工事差し止め仮処分」の第2回審尋が行われ、報告集会に約120人参加。その後、佐賀県庁北「アルクス」前でアピール宣伝行動。

11月29日 午後2時40分ごろ、横田基地所属の米空軍オスプレイが屋久島沖で墜落事故(1人死亡)。ほぼ同時刻、目達原駐屯地では自治体関係者・議員向けにオスプレイ展示説明会※「市民の会」の現在の会員数493人